



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

92.11.10 No.3688

真に反戦・反核闘争を継承・発展させる新たな闘い!

11.22全国総決起集会に立ち

今秋反戦闘争の最大の取り組みであるPKOカンボジア派兵阻止連続闘争は、反戦共同行動委員会を中心とした一〇・一三小牧現地闘争を頂点に、一〇・二一国際反戦デーを含め、全国で自衛隊海外派兵阻止の闘いを全力で牽引してきました。

崩れ去るPKO五原則

現在カンボジア現地では、PKO五原則である紛争当事者間の停戦合意自体が崩れ去り、派遣要綱そのものが問われる事態が次々と起こっています。

ポル・ポト派による攻撃は激化し、この一〇月二七日には、国連カンボジア暫定行政機構(UNTAC)に対し砲撃があり、三一日に自衛隊の輸送路のすぐ先で銃撃戦、一日の「民主カンボジアの声」(ポル・ポト派の機関)において「交戦も辞さず」と声明、さらにポル・ポト派の軍事行動に対して、プノンペン政府軍が反撃を表明するまでに至っています。

PKO派兵の恒常化許すな!



92.6.28 韓国 ハンギョレ新聞
行こう、カンボジアへ!
自衛隊
舌の根も濡かないうちに—

わーっ、またも虎が出てきたア!



92.6.5 韓国 ハンギョレ新聞

カンボジア国民に「糾弾される自衛隊」

そしてポル・ポト派が「和平プロセス」に戻らない場合、具体的な制裁措置を検討されるところまで行っているのです。これは、ポル・ポト派が武装解除を拒否しているというPKO五原則をさえ満たしていない段階で、自衛隊を「国際貢献」の名の下に派兵したことアジアでの権益確保・イニシアチブの確立のみの派兵であったということがより鮮明になったということなのです。ことここに至っても、政府自民党は「散発的なことであり、PKO五原則には問題ない」、一日の自衛隊朝霞駐屯地での「勸闘式」における宮沢首相の「PKOに誇りを、任務をまっとうしてもらいたい」という発言でも明らかのように、「髪の毛一本」でも派兵した以上、何がなんでも自衛隊を本格的な「軍隊」へと変貌させ、既成事実の積み重ねを行いつつ、アジアにおける確固たる地歩を築くことに体制の全てをかけて来ていると言えます。

11.22日比谷野音へ 全力で結集しよう

しかしながらカンボジアにおける自衛隊の行動は、カンボジア国民の不平・糾弾の対象でしかありません。
①、UNTAC駐屯地タケオからの輸送道路で、現地のバイク運転者と衝突事故死亡させる。
②、現地の主要都市タケオ住民を駐屯場所確保のために強制退去、又、道路普請を日本の土木企業が行う意思を表明するに及んでは、何のための派遣であったのか存在意義そのものが突き出されているのです。
要は、自衛隊海外派兵の既成事実化、日本企業の権益確保、アジア現地の人々を抑圧してきた反動に対する鎮圧行動、武力での支配の一環を狙っていることは火を見るよりも明らかではないでしょうか!
世界的な経済危機、ブロック化の流れの中で、「大東亜共栄圏」を再度構築するものなとして、PKOカンボジア派兵の継続・恒常化が図られようとしているのです。

われわれは、今秋反戦闘争の大高揚を勝ちとり、PKOカンボジア派兵粉砕、侵略・腐敗の宮沢政権打倒へ向け、一一・二二全国総決起集会に全力で決起しなければなりません。一一・二二全支部・全組合員は東京日比谷野音に結集しよう!
真に反戦・反核闘争を継承・発展させる新しい闘いを創造しよう!

乗務員員分科会
第一一五回定例会期委員
とき 十一月一六日(一七)
ところ 一の宮荘
反△口・運転保安確立
定年まで働ける
労働条件の確立へ!